

こんにちは ふるいち順子です

※私からのお願い※ このニュースをお読みいただくことが大きな支えになります。ぜひ、読んでいただける方をご紹介ください。

発行 古市順子 真田町本原(竹室) 2543-3 ☎/FAX 72-3261 メール: huruitij@ued.janis.or.jp ホームページ http://www.ued.or.jp/~huruitij/

NO. 198 2022年10月号



ムクゲの木ですが、今年7月に刈り込んでもらいました。「今年は花は咲かないかも・・・」ということでしたが、綺麗に咲きました。(10/3)



相談事はお気軽に
ご連絡下さい

10月となりました。朝はだいぶひんやりして、秋の気配が増してきました。

9月上田市議会定例会は、9月28日閉会しました。私の一般質問の内容は裏面に記載しました。環境建設委員会では、市営住宅管理が来年度から変更される条例が審査されました。また決算審査で今後も引き続き課題と思われる事項について下記に記載しました。

全員協議会では以前から課題であった、上田市産婦人科病院と信州上田医療センターとの医療機能の集約について、具体的なスケジュールが示されました。産婦人科病院は、今年度末で分娩を中止し、来年度は婦人科診療、妊婦健診等を行い、平成5年度末までに医療機能を医療センターに集約し閉院という方針です。市として、医療センターの常勤医師の増員や施設整備について支援し、地域内での分娩件数を減らすことなく、十分な受け入れ態勢を確保するとしています。

9月27日には、多くの国民の反対を押し切って、安倍元首相の国葬が行われました。全国各地で反対行動がありましたが、上田市でも24日に市民団体の呼びかけの集会に120人参加しました。22日には土屋市長が、弔意を表す半旗を3自治センターに掲げるとの記者会見があり、急きょ26日は市民団体が市長に「半旗掲揚を行わないこと」という申し入れを行い、私も同席しました。同日朝には、日本共産党と上田市議団の連名での申し入れも行っています。市長と副市長で決められたそうで、市長の政治姿勢がよくわかりますね。(10/3)

○市営住宅に関する条例中一部改正(令和5年4/1から)

- ・長野県住宅供給公社へ管理を委託する。
軽度な督促・催告・・・公社が行う
明け渡し・調査が必要な場合・・・住宅課(福祉課とも連携)
- ・单身世帯の入居ができるようになる。
- ・連帯保証人を2名から1名とする。(単身高齢者増のため)



9月24日、上田駅前での安倍元首相の「国葬」反対の集会。大勢でスタンディングも行いました。

決算特別委員会環境建設分科会の審査から

○上田市地域振興事業基金について

- ・平成18年3月合併時に創設
新市造成分【合併特例債を活用】 36億5,400万円
各市町村からの持寄り基金 13億3,000万円
 - ・令和4年3月末時点の残高
新市造成分【合併特例債を活用】 31億9,680万円
各市町村からの持寄り基金 7億8,017万円
- | | |
|------|-----------|
| 旧上田市 | 2億899万円 |
| 旧真田町 | 7,895万円 |
| 旧武石村 | 2億909万円 |
| 旧丸子町 | 2億8,314万円 |

*旧町村では、公共施設建設等に活用していますが、旧上田市は、1円も使っていません。「旧上田市の公共施設は全市的な施設のため・・・」といった答弁をされていますが、合併特例債を活用して様々な施設整備がされました。元々、自治体規模からいっても持ち寄り基金額が少ないうえに、いかがなものでしょうか。

前号からの活動報告

- 9/23 学校給食の無料化をめざすシンポジウム
- 9/24 安倍元首相の国葬に反対する上田集会
- 9/26 安倍元首相の国葬に際し、半旗掲揚中止の申し入れ 農業政策議員連盟総会・研修会
- 9/28 上田市議会9月定例会閉会日
- 10/2 上田市遺族会長支部戦没者追悼式
- 10/3 9条の会 スタンディング

これからの予定(10/3現在)

- 10/7 まりこビニヤードぶどう収穫作業
- 10/11 竹室長寿会「太極拳」体験会
上田市・東御市生活と健康を守る会理事会
- 10/13 人権を考える市民のつどい
- 10/15 国民健康保険学習会【古市が上田市の国保税引き下げの報告を行います】
- 10/15 竹室区代議員会
- 10/16 長野山宣会、碑前祭、50周年記念講演会
- 10/17 長野県生活と健康を守る会連合会理事会

9月市議会 ふるいち順子の一般質問と答弁 (9/7)

問緊急小口資金・総合支援資金、たすけあい資金の相談と貸付状況はどうか。

答令和2年3月から今年の7月までの合計件数で、緊急小口資金が1,008件、総合支援資金が1,078件、たすけあい資金貸付金が140件となっています。

問生活福祉資金の返済免除申請についての周知状況について把握しているか。

答長野県社会福祉協議会から来年1月より償還が開始される貸付対象者に対し、今年5月末から順次償還及び免除に関する通知が発送されています。

問特例貸付の対象者に対し、社会福祉協議会、生活就労支援センターまいさぼ、市の福祉事務所が連携して、伴走型の支援を行っていくことが必要と考えるが、現在の取組状況はどうか。

答昨年の7月に開始された新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給対象者については、まいさぼ上田と連携した支援を行うようにしています。

問菅平高原の宿泊業は、新型コロナウイルス感染症の急拡大により今夏も直前での予約キャンセルが多く、また物価高騰により光熱費なども増えている中、現状はどうか。

答菅平高原旅館組合を通じて調べたところ、旅館、ホテルによりばらつきはありますが、直前になってのキャンセルが3割ほど出ている状況です。

問菅平高原の宿泊業は大変厳しい状況が続いていることから、菅平をはじめ事業者に対し、昨年度実施した旅館・ホテル事業者宿泊予約キャンセル等支援金の支給や、施設規模に応じた支援を検討すべきだが見解は？

答キャンセル状況や燃料費、原材料価格の動向等を引き続き注視し、菅平だけでなく他地域の状況や他業種とのバランスなども考慮する中で、関係団体にお聞きしながら、支援策は必要に応じて検討してまいります。

問コロナ禍における生活保護の相談件数、申請件数、利用開始件数の推移はどうか

答令和3年度は生活相談が443件、保護申請が179件、保護開始が152件となっており、前年度と比較すると、減少しています。しかし、平成30年度と比較すると、相談件数は約1.3倍となっています。

問厚生労働省の事務連絡で、コロナ禍で特に申請をすることが困難となる要因である自動車の保有についての弾力的な運用と扶養照会に関する内容はどうか。

答一時的な収入の減少により保護が必要となる場合においては、収入が増加すると考えられる方が通勤用の自動車を保有しているときなど、弾力的な運用により自動車の保有が認められる場合がありますが、基本的には認められておりません。扶養照会は、個別に慎重な検討を行い扶養義務の履行が期待できない方を除いて実施しております。事務連絡では、これまでは扶養義務者との音信不通である期間は20年以上と例示されていましたが、基準が10年以上とされ、扶養照会を行わない対象が拡大されました。

問通知を踏まえ、しおりやホームページで「生活保護は権利」と明記して速やかに新しい情報を発信すべきと考えるが、見解はどうか。

答今後市民や相談者の方の視点に立ち、分かりやすさを基本に改めてその内容を精査し、検討してまいります。

問ケースワーカー一人当たりの担当件数は、コロナ禍でどう推移しているか。福祉事務所の人員確保策として、国庫補助の活用を検討すべきと考えるが、見解はどうか。

答今年7月末現在、ケースワーカー1人が担当する保護世帯数は約85世帯であり、国の基準(80世帯)を超過しています。支援体制の充実は必要であると考えており、補助金活用について検討してまいります。

問ケースワーカーの業務は高い専門性が求められるが、専門職員の採用状況はどうか。また、人事異動についての考え方はどうか。専門職員を養成する観点を踏まえ、人事異動を行うべきではないか。

答社会福祉士や精神保健福祉士の採用は、令和2年度2人、令和3年度1人、令和4年度2人を採用しました。専門的な知識のほかに他の行政分野の知識や経験が必要とされるとともに、相談に適切に対応できる能力や、判断能力等が必要です。資格を有する職員に加えて、高いコミュニケーション能力や冷静沈着な判断力を有する職員の配置に努めてきました。人材育成の観点も考慮しつつ、職員の適性や意向も踏まえながら適材適所の配置に努めてまいります。

我が家の庭だより

畑の方は、10月となりましたが、まだナスが、まだとても元気です。初めて植えた米もいろいろ種類が収穫でき、お裾分けもしています。長男が「たくさんつくりたい。」とがんばったサツマイモをこの頃長男夫婦で収穫しました。写真のとおり、なかなか良い出来だと思いますが、モグラでしょうか？大分食べられていた物もあったようです。2か所で栽培し、1か所はまだ小さいようですので、もう少し待つこととしましたが、ツルの勢いがすごい割に量がイマイチの印象だったようです。



9月28日は私の70回目の誕生日でした。古希ということ、当日は都合が悪いのでお彼岸に、子どもたちが夕食会を企画してくれました。素敵な鉢植えや、花の苗もたくさんプレゼントされ、楽しみが増えました。孫たちは写真の手作りのバースデーカードを、箱に仕立てて、渡してくれました。二十歳の時以来か、過ぎし日々とこれからの考える機会でした。孫の最高な1年に・・・というメッセージに、コトメ、一日を大切にしよう。」と改めて思いました。

